

鹿児島大学 障害学生支援センター センターニュース



2017.3.15 発行 VOL.2

発行 障害学生支援センター

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

共通教育棟 1号館 2F 修学支援室

TEL&FAX 099-285-3287

E mail learning-support@gm.kagoshima-u.ac.jp

URL <https://www.kagoshima-u.ac.jp/syogaku/>

はじめに

平成 28 年度は障害者差別解消法が施行され、全国の大学において障害学生支援のための体制作りが進んだ年でありました。鹿児島大学でも手探りの状態から、保健管理センター、学生生活課および多くの教職員の方々の協力を得て、障害学生支援委員会を設置することができました。各部署から委員を選出いただき、全学的な支援体制を構築できたことは喜びであり、来年度は研修会を複数回実施し、ここを核として、障害学生に対する理解と協力をお願いしたいと思います。ところで、幸いなことにこれまでの鹿児島大学の活動が評価

され、1月5日に障害学生支援に関する国大協の取材を受け、鹿児島大学の取り組みを広く社会にアピールする機会を得ました。まだまだ学内において認知度が低い施設ですが、障害学生の支援を通して、皆様に活動を理解していただきたいと思ひます。

さて、近年はバリアフリー対策と共にユニバーサルデザイン（障害の有無に関わらず、全ての人に使い易いように意図された製品・情報・環境のデザイン）も求められております。施設、備品だけではなく、講義においてもそのような視点を持っていただくと、障害を抱えた学生に対してだけではなく、受講生全員にとっても良い効果をもたらすのではないかと考えます。障害が目に見える場合は、却って対応しやすい面がありますが、目に見えにくい障害であった場合、対応に苦慮することがあるのではないのでしょうか。昨年「教職員のための学生理解と修学支援ガイドブック」を作成いたしました。授業内での様々な学生の行動例を挙げていますので、ぜひご活用いただければと思います。また共通教育 1 号館 2 階に障害学生支援センターがござりますので、いつでもご相談ください。

平成 29 年 3 月 センター長 前田 雅人

「平成 28 年度障害学生支援のための研修会」開催報告

今年度発足した障害学生支援委員会の研修として「平成 28 年度障害学生支援のための研修会」を開催しました。教員 13 名、専門職員 2 名、事務職員 5 名、事務補佐員 3 名の参加がありました。講演では本センターの今村特任助教が学内の障害学生支援の現状を交えながら、平成 28 年 4 月施行の障害者差別解消法及び具体的な合理的配慮について解説しました。また、理学部で実際に行われている学生支援について仲谷教授が報告されました。保健管理センターの鮫島助教は実演を交えながらアナフィラキシーショック応急処置のエピペンについてご説明されました。参加者から多くの質疑応答がありました。

日時 平成 28 年 11 月 24 日（木）16:10～17:40

会場 本学共通教育棟 1 号館第一会議室

テーマ 「障害学生支援とは」

司会進行 前田副学長（障害学生支援センター長）

内容 講演「障害学生支援について」 障害学生支援センター 今村特任助教

事例報告「理学部の障害学生支援について」 理学部 仲谷教授

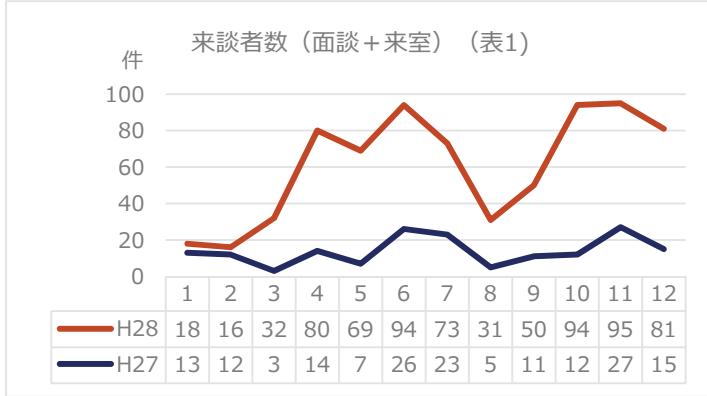
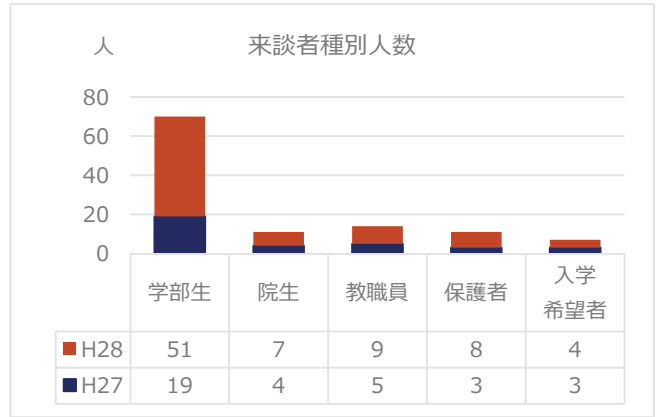
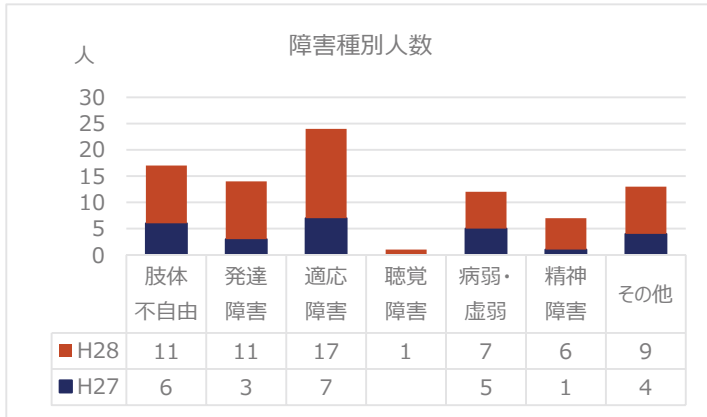
情報提供「エピペンについて」 保健管理センター 鮫島助教



感想（抜粋）

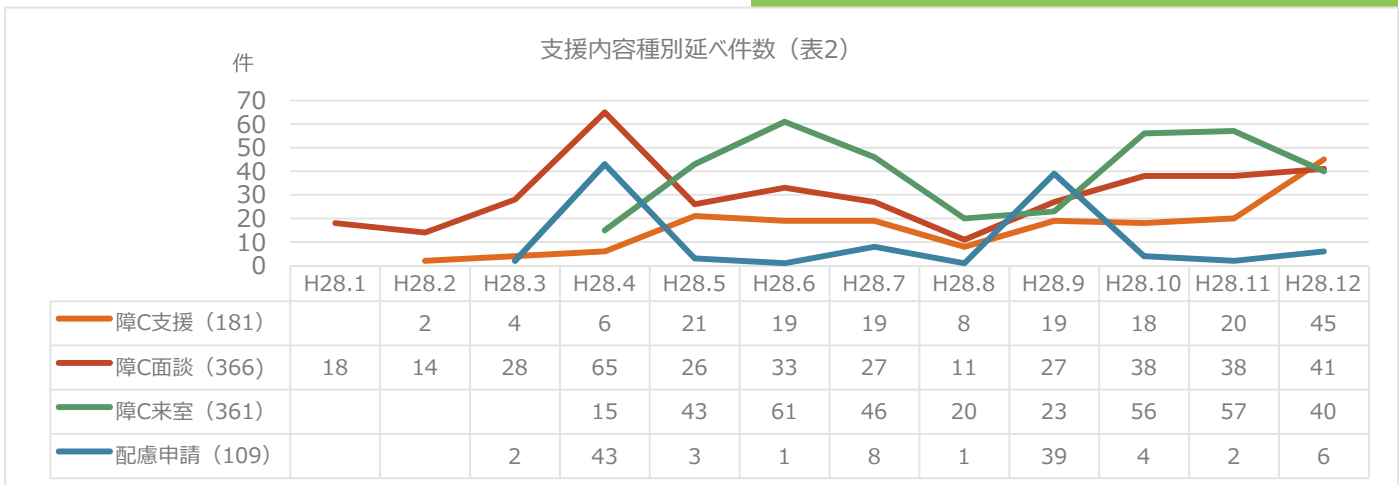
- ・支援についての詳しい内容を知ることができた。エピペンについて初めて知り 参考になった。
- ・発達障害のある学生に対する対応について、具体的な事例を知りたい。
- ・障害学生支援、学生支援と共に、色々な意見があって当然だと考える。だからこそ、研修会で理解や考えを深める必要があると感じた。学生に接する可能性のある職員は知っておく必要があると思う。

相談件数・来談者数 H27=1月～12月 H28=1月～12月



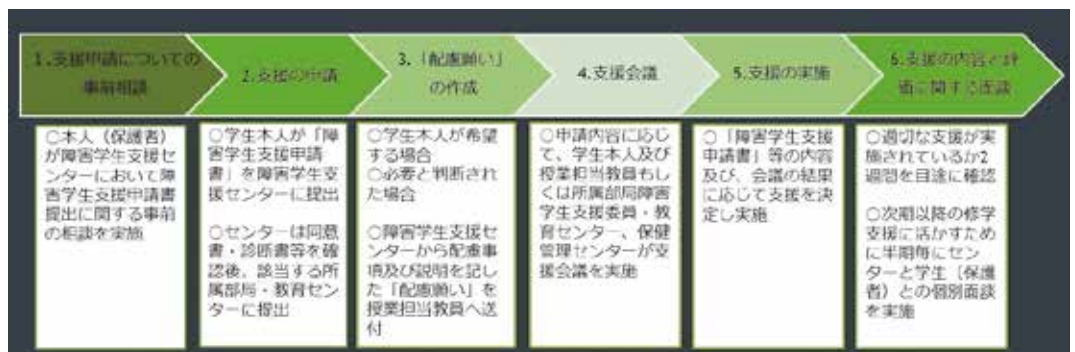
センターの活動について

障害学生支援センターの活動は、大きく分けて、学生・保護者・教職員との個別面談、休息や昼食といった学内での居場所利用としての来室、修学支援や配慮申請に係る手続き等があります。支援内容の件数を月ごとに表したグラフが表2になります。平成28年度は合計1017件の支援を実施したことになります。面談及び配慮申請は、各期の開始時に多く、来室や支援は長期休みを除けば常に一定数の利用があります。また、来談者数（表1）は、面談数及び来室数を合計した数ですが、H27年と比較するとH28年は約4.4倍の733件となっています。



学内における支援の流れについて

鹿児島大学には、障害やつまずきを理由に修学上の支援を希望する学生のための体制があります。図に示すように、まずは支援についての事前相談を申し込んでください。話し合いの中で具体的な支援方法を考え、支援申請書を作成します。支援申請書の提出には、障害者等手帳・診断書及び本人・保護者の同意書が必要です。申請書を提出する際に、必要に応じて支援についてより具体的に記した配慮願いを作成する事があります。支援内容によっては、学生本人や担当教員、所属部局障害学生支援委員、教育センター、保健管理センターによる支援会議を実施します。提出先の部局では申請書に応じて支援を実施します。その後、適切な支援が実施されているか等の確認、支援申請書の見直しなどを行います。実際の支援までに、手続き等により時間が必要です。支援の申請をお考えの学生さんは、履修を検討した時点で相談していただけますと、スムーズです。



活動報告

○支援活動

年月日	内容
H28年3月	前期履修登録支援
H28年3月23日	前期障害学生支援申請開始
H28年4月1日～	バリアフリーマップ(写真1)、教職員のための学生理解と修学支援ガイドブック2016(写真2)発行及び配布(HP公開)
H28年4月11日	支援員配置
H28年9月9～11日	後期履修登録支援
H28年9月15日	後期障害学生支援申請開始
H28年10月	障害学生支援のための学生アルバイトの研修
H28年11月11日	利用学生と共に学祭見学
H28年11月～	バリアフリーマップ調査
H29年1月5日	国立大学協会「国大協広報誌・国立大学3月号」取材(写真3)



(写真1 バリアフリーマップ)



(写真2 ガイドブック)



(写真3 国大協取材風景)

支援員・障害学生支援のための学生アルバイトについて

冬は白のジャンパー(写真4)、夏は紺色のポロシャツで、障害学生支援のための支援員、学生アルバイトが活動しています。障害のある学生が、障害のない学生と同じように学びを深めることができるように支援を行っています。ご協力、ご理解をお願いいたします。また、障害学生支援(ノートイク・移動支援等)に興味ある学生がいましたら、障害学生支援センターにご紹介ください。



(写真4 支援員ジャンパー)

○支援会議・協議会

年	H28												H29	合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
入試事前協議会	2						1		1		1		5	10
入学事前協議会				1										1
修学支援会議				3	4	1	1			1		3	1	14

入試事前協議会、入学事前協議会、修学支援会議について

鹿児島大学では、障害のある学生からの入学試験での配慮申請について入試事前協議会を行っています。これは、これまで入試課・各学部にて実施されていた配慮の決定について入試事前協議会にて実施するものです。「障害者差別解消法」の施行により合理的配慮の提供が義務となり、配慮の提供は協議による同意形成の過程が必要となるためです。また学部による不均衡を防ぐ目的があります。また、必要に応じて入学事前会議や修学支援会議を実施し、修学に対する配慮の提供やその方法について計画・実行・照合・修正を行っています。ご協力の程よろしくお願いたします。

○講師活動・発表

年月日	講習会	主催
H28年9月2.3日	第65回九州地区大学教育研修協議会分科会障害学生支援部会発表 演題 「自分らしく学び合う」ことを目指した障害学生支援センターの教育活動に関する取り組み	九州地区大学教育研究会
H28年10月3日～	共通教育科目「自己理解・他者理解・障害理解」開講	(受講生50名)
H28年11月24日	平成28年度第1回障害学生支援のための研修会講師 演題 障害学生支援について	本学障害学生支援委員会
H28年12月1日	鹿児島大学教職員組合学習会 演題 障害のある学生への修学支援について	本学教職員組合



出張ミニ講座いたします！

『支援の方法について』『合理的配慮の提供について』等、障害学生支援に関する出張ミニ講座を行います。お声かけください。

○論文

伊地知信二、鮫島久美、川池陽一、蒲池亜紀代、平片舞、鮫島由佳、中村聡子、眞邊りみ、黒瀬真弓、今久留主舞依、石田愛、南崎明日香、四元真弓、田沼利枝、永田純子、今村智佳子、前田雅人、森岡洋史学生支援のあり方：発達障害者支援から見えてくること CAMPUS HEALTH,53 (2) ,181-190,2016

○参加学会・開講科目等

年月日	学会、セミナー等名称
H28年5月21日～23日	日本学生相談学会第34回大会
H28年6月25日～26日	全国高等教育障害学生支援協議会第2回大会
H28年7月8日	九州・沖縄地区大学障害学生支援に関する情報交換会
H28年8月4日～5日	日本学生支援機構「心の問題と成長支援ワークショップ」
H28年10月28日～30日	日本動作学会長野大会（第24回学術大会）第30回学会主催研修会
H28年11月5日	日本版 Vineland- II 適応行動尺度勉強会
H28年11月8日	平成28年度全国障害学生支援セミナー「体制整備支援セミナー」

利用学生の声

利用学生に対して本センターを利用した感想を聞きました。

（本人に承諾を得られた回答を一部紹介します）

- ・解決策について一緒に考え、方法が見つかったこと。
- ・自己の管理が以前よりうまくいった。
- ・授業の合間に休憩できる。
- ・センターを利用する人とよく話すようになった。
- ・もっと親しみやすい名称にした方がよい。
- ・自分の困り事について相談できるようになったこと。
- ・大学に通いやすくなった。
- ・気が楽になった。
- ・自分の中で余裕ができた。
- ・障害学生支援申請書を提出したことで、先生方が授業で配慮してくださって講義に安心して参加することができた。
- ・障害をもって大学生活を送ることに不安があったが、センターの利用により負担が軽減でき大学生活に安心感が湧いた。

ほんとにその場所、その止め方でいいの？！

車椅子の学生、松葉杖の学生、足の不自由な方、大きな荷物をカートに載せて運んでいる人、妊婦さん、高齢の方など、学内には色々な人がいます。気をつけて！あなたの自転車が、他の誰かの迷惑になっているかもしれません！！駐輪場ではない場所への駐輪や、駐輪場からはみ出した駐輪は通行の妨げになるだけでなく、ケガ等の危険もあります。あなたの気づきが、過ごしやすいキャンパスをつくれます！！自転車は駐輪場をお願いします。



支援機器の貸し出しについて※支援説明やお試しも出来ますので、お気軽にお問い合わせください。

点字対応テブラ キングジム SD6700D 	ICレコーダー Pannasonic RR-XS455-K 	車いす マツナガ 42幅 自走タイプ 	ストレッチマット&バランスボール リラクゼーション等に利用 
ロジャーペン 補聴器を使用中の方の受講やグループディスカッションに有用 	ロジャータッチスクリーンマイク 	ロジャーフォーカス 聴力に関係なく、大きな講義室の中で先生の声だけをよりクリアにきくことが可能 	筆談ボード Memle BR 

編集後記

この度、センターニュース Vol2 を発行することとなりました。今年度は、障害学生支援委員会の設置や配慮申請に係る手続、入試事前相談の会議等、障害学生支援体制が動き始めた一年だったように感じます。教職員の方々が学生との関わりについて相談にいらっしゃる等、センターを活用いただいていることに深く感謝いたします。来談される学生・保護者も増え、障害のある学生が修学のために利用できるセンターとなっていることを嬉しく感じる一方で、適切な支援のためにはマンパワーが必要であることも逼迫した課題であると感じています。（今村・溝口）